

視覚障がいのランナー 4 人初参加

いの～んびりトレイルラン大会



▲伴走者と一緒に走る視覚障がいのランナー(左)



りんご山整備事業をきっかけに、里山を楽しみたいという有志(多久和秀政実行委員長)が昨年、「いの～んびりトレイルラン大会」を開催したところ大好評だったので、今年も11月11日に第2回を開催した。昨年の参加者70人を大幅に上回る120人のランナーが晩秋の伊野を

駆けめぐった。視覚障がいのランナー4人も伴走者とともに走りぬぎ、「来年も参加したい」と息をはずませていた。

地元のアスリートは役員にとられるので、ランナーのほとんどは地区外からだが、交流人口拡大に大きな役割を果たしている。